

チンゲンサイ栽培方法

種まき4月下旬
～9月上旬

1 畑の準備



植えつけ予定の畑には、なるべく早く石灰をまいて耕しておく。タネまきが近づいたら元肥を全面にばらまき、15～18cmくらいの深さに耕す



5 害虫防除



春と秋には害虫が発生しやすいので、早いうちに捕殺するか、殺虫剤をかけて防ぐ葉の裏も入念に



薄い割り繊維不織布などのべた掛け資材を葉の上に直接おおうと、農薬を使わずに害虫が防げる。夏の栽培では強い光をさえぎり、防暑効果も期待できる

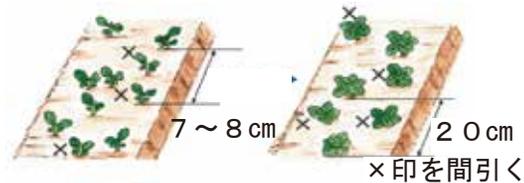
2 苗づくり

(少ない株数の場合)

ポリ鉢にじかまきして苗を育て、ベッドに植えつける



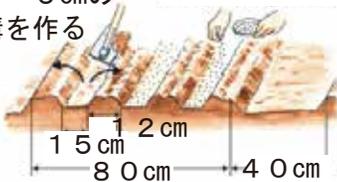
6 間引き



徒長
株間が狭くて込みすぎたとき

3 種まき

2～3cm間隔になるように、溝の全面にタネをばらまく
深さ4～5cmのまき溝を作る



タネの上に1cmほど土をかける

7 追肥

第1回追肥
本葉4～5枚のころ、畝間にばらまき、軽く土に混ぜ込む
第2回追肥
第1回追肥の半月後に、株間にばらまく

1回目: 化成肥料大さじ4/m²

2回目: 化成肥料大さじ4/m²



4 保温



12～13℃以下の低温にあうと花芽ができ、とう立ちするので、春早くまくときや秋遅くまで収穫するときなどは、ビニールトンネルで保温する

8 収穫

タネまき後、春は45～55日、夏は35～45日、秋は50～65日くらいで、150gほどのものが収穫できる



とう立ち
春、低温にあうと、とうが立つ



下の方がふくらみ、葉に厚みのあるものが良品



ミニチンゲンサイ
若採りし、丸のまま煮物などに用いる